

自転車の違反に導入！

交通反則通告制度(青切符)

令和8年
4月1日から
始まるねり



©2011 練馬区ねり丸

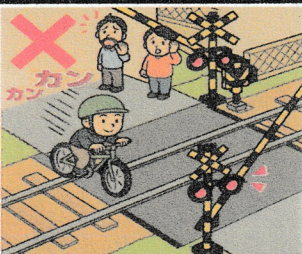
警察官が自転車の交通違反を認知した場合、基本的には現場で指導警告を行います。ただし、その違反が交通事故の原因となるような、歩行者や他の車両にとって危険性・迷惑性が高い悪質・危険な違反であったときは検挙を行います。

交通反則通告制度の対象となる違反行為の例と反則金額

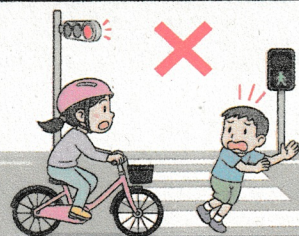
携帯電話使用等
(保持)
12,000円



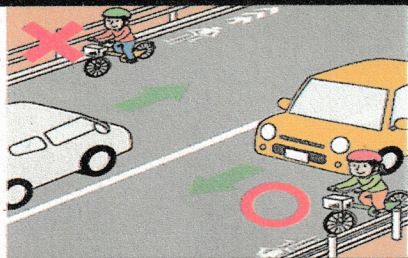
遮断踏切立入り
7,000円



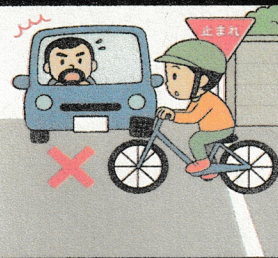
信号無視
(赤色等)
6,000円



通行区分違反
(右側通行)
6,000円



指定場所
一時不停止等
5,000円



公安委員会遵守事項違反
(傘さし)
5,000円

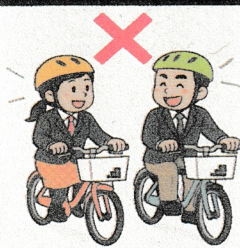


公安委員会遵守事項違反
(イヤホン・ヘッドホン)
5,000円

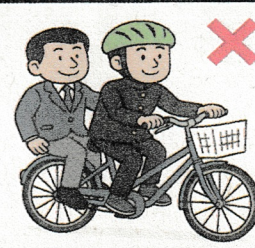


※ 安全な運転に必要な音または声が聞こえない場合

並進禁止違反
3,000円



軽車両乗車積載制限違反
(二人乗り)
3,000円



交通反則通告制度(青切符)の対象は16歳以上となります。

関連のホームページ

警察庁サイト



警視庁サイト



出典:警察庁ウェブサイト・警視庁ウェブサイト

練馬区交通安全課・練馬警察署・光が丘警察署・石神井警察署